

令和5年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和6年7月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料	6
7	事業別実施状況調べ	8
8	予備費の充用調べ	17
9	現金の取扱状況	17
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	17
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	19
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	22
13	職員駐車場の管理状況調べ	22
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	22
15	備品の処分状況調べ	23
16	貸付金等状況調べ	23
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	23

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 勧告事項
該当なし
- (2) 指摘事項
該当なし
- (3) 監査意見
該当なし
- (4) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	
定員	16	16					16	16	社会教育課(10)、船上山(3)、大山(3)
現員	(4) 21	(6) 23	()	()	()	()	(4) 21	(6) 23	派遣研修専門指導員受入(4) (船上山、大山各2) (R6の派遣元: 湯島町1、北栄町1、大山町1、日吉町1)
過不足(△)	5	7					5	7	派遣研修専門指導員受入(4)、社会教育課過員(1)
臨時的 任用職員	0	0					0	0	
会計年度 任用職員	4	1					4	1	広報専門員(1)、体験活動指導員(3)

4 役付職員の調べ

(令和6年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	福本 哲也		4	
課長補佐	(併) 每野 良子	1	4	環境立県推進課星空観察推進室 課長補佐
課長補佐	尾崎 浩三	2	4	
課長補佐	(併)(兼) 松本 千恵		4	家庭支援課課長補佐 小中学校課課長補佐
船上山少年自然の家所長	中本 祐二	2	4	
大山青年の家所長	三嶋 範嗣		4	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業	3,438				3,438
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(2)人財とっとり①未来を拓く人づくり SDGsゴール(04 質の高い教育をみんなに)				
政策項目	—				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン・ゲーム機・タブレット端末等の電子メディア機器が子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいることから、保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(*)について教育・啓発を行う。</p> <p>*よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネットの特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業</p> <p>【委託先：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会】</p> <p>①協議会の開催</p> <p>電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。(6月8日、1月22日)</p> <p>②PTAに向けた電子メディア機器とのより良い付き合い方についての啓発</p> <p>鳥取県PTA協議会と連携し、子どもたちの電子メディアやインターネットとの理想的な付き合い方について啓発する講演を下記の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年6月17日(土)、令和5年11月25日(土) ・会場：国府町コミュニティセンター、境港市民交流センターみなとテラス ・参加：141名(会場参加者87名、オンライン参加者54名) <p>③「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム」の開催</p> <p>こども家庭庁、鳥取県等と連携し、子どもたちが主体的に電子メディア機器等との付き合い方を考える取組「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年10月14日(土) ・会場：とりぎん文化会館 第1会議室 ・参加：68名 <p>④「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成・配付</p> <p>子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家庭で話し合っ規則を決める際や学校での情報モラル教育の充実に資する学習ノート(シート)を作成し、県内の全小・中・高校生に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類(作成部数)：小1～小3用、小4～小6用、中・高校生用の3種(合計64,800部) <p>⑤子どもの適切なインターネット利用に関する啓発イベントの実施</p> <p>関係団体・施設・市町村等が開催するイベントにおいて、適切なインターネット利用に関する啓発や、SNSトラブルから子どもを守る合言葉「とりのからあげ(※)」の広報・周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年9月9日(土)、令和5年9月10日(日)、令和5年10月14日(土)、令和5年10月28日(土) ・会場：イオン鳥取北セントラルコート、イオン日吉津チューリップコート、とりぎん文化会館フリースペース、わかさ生涯学習情報館 ・参加：延べ599名 ・内容：「とりのからあげ」豆本づくり、「とりのからあげ」缶バッジ作成、啓発資料の配布等 <p>※「とりのからあげ」…以下の頭文字をとった標語。 「と」もだちがきずつくことをしない</p>					

- 「り」よう時間をきめよう
- 「の」せない個人情報
- 「か」きんしない
- 「ら」いは相手の事を考えて送信
- 「あ」わないSNSで知り合った人
- 「げ」一むソフトの年齢制限を守る

(2) 鳥取県インターネット問題予防対策事業

①鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーター派遣

情報モラル教育、メディアリテラシー、デジタル・シティズンシップ等について専門的知識を有する鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーターを県内の学校に派遣し、児童・生徒を対象とした授業と教職員研修および保護者研修を行った。

・派遣実績：38校

(小学校14校、中学校13校、高等学校6校、特別支援学校3校、義務教育学校2校)

②「令和5年度新規鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーター養成研修」の実施

鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーターを養成し、社会生活のデジタル化の進展によって、今後増加が見込まれる学校や保護者からの研修依頼に対応できる持続的な体制づくりを行った。

・開催日：令和5年12月2日(土)、令和5年12月18日(月)、
令和6年1月15日(月)、令和6年1月31日(水)

・会場：伯耆しあわせの郷 小会議室、倉吉市立上灘小学校、琴浦町立東伯中学校、
北栄町立大栄中学校

・養成者：2名

(3) インターネットとの適切な接し方教育啓発講師派遣事業

【委託先：NPO法人こども未来ネットワーク】

①鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣

PTAや地域等で開催される乳幼児の保護者を対象とした学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を講師として派遣した。

・推進員：16人(令和5年度末)

・派遣実績：38件

②乳幼児保護者向けチラシの作成・配布

電子メディア機器利用の低年齢化が進んでいることから、乳幼児期の電子メディア機器の適切な利用について啓発するチラシを作成・配布した。

・配布先：県内の幼稚園・保育所・認定こども園等 ・作成部数：約26,000部

3 事業成果(改善状況)・課題等

(1) 事業成果(改善状況)

- ・青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムの開催や、電子メディアとの付き合い方学習ノートの活用等により、子どもが主体的に電子メディア機器の使用ルールを考えたり、作成したルールを大人(保護者)と共有し理解を深める契機とすることができた。
- ・鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーターや鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員といった講師派遣を通して、児童・生徒や教職員、保護者の情報モラルに対する意識を高めることができた。

(2) 課題

- ・GIGAスクール構想や社会のデジタル化の進展に伴い、子どもたちのICT活用の状況も急速に変化してきている。そうした変化に対応し子どもたちの実態に応じた啓発、情報発信が行えるよう、啓発内容や講師の派遣体制といった事業の内容を臨機応変に見直していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地域学校協働活動推進事業	41,075	19,979			21,096
将来ビジョン	6【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む (1) 地域や職場との連携などにより、安心して子育てできる環境が進展 (3) 子どもたちの地域への愛着と誇りが醸成				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2) 人財とっとり ②地域を支える人財の育成 S D G s ゴール (04 質の高い教育をみんなに)				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>社会総がかりで子どもたちを育むために、公立学校に学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール（※）、以下「CS」という。）を導入した学校と家庭・地域の連携・協働体制を確立する。また、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、学校を核とした地域づくりを推進する。</p> <p>※学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール） …保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することにより、学校と地域が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 県実施事業</p> <p>①CSと地域学校協働活動の一体的推進に関する研修・資料配布</p> <p>ア 令和5年度全国コミュニティ・スクール研究大会by鳥取県南部町の開催 (主催：全国コミュニティ・スクール連絡協議会 / 文部科学省 / 鳥取県教育委員会 / 南部町教育委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年12月15日（金） ・開催場所：米子市コンベンションセンター、キナルなんぶ（※ライブ配信と併用） ・対象：県・市町村行政関係者、学校管理職、教職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、公民館職員、学校支援ボランティア、PTA関係者、保護者、地域住民等 ・参加者数：1,662名（会場866名、ライブ配信796名） ・内容：事例発表、パネルディスカッション等 <p>事例発表者 山口県長門市立深川中学校 校長、南部町教育委員会総務・学校教育課長、南部町教育委員会協働活動統括推進員及び南部町法勝寺中学校区学校運営協議会長</p> <p>パネルディスカッション 「コミュニティ・スクールのその先に期待すること」</p> <p>パネリスト 東京学芸大学総合教育科学系准教授、鳥取県日野町立日野学園校長、茨城県牛久市前市長及び南部町教育委員会教育長</p> <p>イ パンフレットや動画を活用した啓発・伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを配布するとともに、啓発動画を作成し、市町村教育委員会事務局等を対象に、CSと地域学校協働本部の導入と一体的推進の必要性等について説明等を行った。 ・パンフレット配布先（配布部数）：県内全公立学校・公民館、市町村教育委員会事務局（3,000部） ・動画再生回数：1,342回（R6.3.31時点。） <p>②放課後子供教室等の地域学校協働活動に対する支援</p> <p>ア 放課後児童クラブ・放課後子供教室安全管理研修会の開催 放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ及び放課後子供教室関係者を対象に安全管理に関する知識や技能を高めるための研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和5年7月6日（木） ・開催場所：琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」（※ライブ配信と併用） 					

- ・参加者数：276名（会場79名、ライブ197名）
- ・内容：講義 1：KYT～危険予知トレーニングの考え方と基礎
講師：鳥取県子ども会育成連絡協議会 理事
講義 2：応急手当・熱中症対応
講師：鳥取中部ふるさと広域連合琴浦消防署職員

イ 放課後児童クラブ・放課後子供教室指導者等研修会の開催

放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ・放課後子供教室等の指導者等を対象に、専門的な知識と指導技術の習得のための研修動画の配信を実施した。

- ・実施方法：動画配信により実施
- ・配信の期間：令和6年2月22日（木）から3月15日（金）まで
- ・視聴回数：394回（令和6年3月15日まで）
- ・内容：「発達障がいの特徴、特性が気になる子どもへの支援のコツ、支援の実際」

講師：『エール』発達障がい者支援センター 係長

ウ 令和5年度鳥取県子どもの学びの環境等生活困難者対策連絡会議研修会

困難を抱える家庭への学習支援等を所管する家庭支援課と協力して、子どもの貧困対策の一つでもある地域未来塾等の学習支援の取組の効果と、貧困の連鎖を断ち切るために必要な力を育むための実践と成果について知り、関係者の資質向上及び今後の取組の充実を図った。

※地域未来塾：中学生等を対象に地域住民（退職教員や大学生等）の協力により実施する学習支援

- ・開催方法：Web会議システムにより研修を実施
- ・対象者：県・市町村福祉部局担当者、県・市町村教育委員会関係課、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会、各市町村社会福祉協議会、スクールソーシャルワーカー、地域コーディネーター、学習支援事業実施団体、こども食堂運営団体等

・参加者数：31名

・開催日：令和6年3月21日（木）

・内容：講演「こどもの貧困の状況～近年の動向や現場の取り組み～」

講師：NPO法人アスイク代表理事・社会福祉法人明日育福祉会理事長

(2) 市町村への補助事業

国庫補助（学校を核とした地域力強化プラン事業）を活用した市町村への財政支援（市町村事業費の2/3（国1/3、県1/3））

- ・補助金活用市町村数：18市町村1学校組合（中核市は国が直接補助）
- ・補助対象事業：CSの導入、放課後子供教室の実施、地域未来塾の実施等

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 成果及び効果

- ・研修会の実施方法を動画配信やオンライン形式でも実施するなど工夫したことで多くの人への情報提供や事例の共有を図ることができた。
- ・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットや動画を用いて事業説明を行うことにより、取組の一層の理解と推進を図ることができた。

【鳥取県教育振興基本計画（2024年度～2028年度）に掲げる関連指標の状況】

項目	目標値 (令和10年度)	令和5年度末	令和4年度末
地域学校協働本部を設置している公立学校の割合	全ての公立学校	74.0%	62.8%
CSを導入している公立学校の割合	全ての公立学校	93.6%	88.9%

(2) 課題

- ・県教育審議会生涯学習分科会の建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」（令和4年9月）を踏まえ、市町村や学校、地域の状況に応じ、CSと地域学校協働活動に関し、制度や活動への理解促進、人材確保・育成、円滑な導入・運営への支援を継続して行う必要がある。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠 損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計						
歳入	教育使用料	330,000	0	330,000	0	330,000	607,200	607,200	0	0		
	行政財産使用 料	128,000	0	128,000	0	128,000	120,920	120,920	0	0		
	教育費国庫補 助金	31,385,000	△2,541,000	28,844,000	0	28,844,000	22,801,000	22,801,000	0	0		
	雑入	0	0	0	0	0	289,923	289,923	0	0		
	繰越金	(0)	(0)	(6,355,000)	(6,355,000)	(6,355,000)	(6,355,000)	(6,355,000)	(0)	(0)		
	教育債	123,000,000	△26,000,000	49,000,000	49,000,000	146,000,000	(41,000,000)	138,000,000	(41,000,000)	(0)	(0)	
		(0)	(0)	(55,355,000)	(55,355,000)	(55,355,000)	(47,355,000)	(47,355,000)	(0)	(0)		
	合計	154,843,000	△28,541,000	181,657,000	55,355,000	181,657,000	168,174,043	168,174,043	(47,355,000)	(0)	(0)	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				支 出 済 額 (決算額) B	支 出 済 額 の 内 訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備 考	
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越 事業費繰越額	予備費 支出及び 流用増減		計 A	本 庁				出納機関
	社会 教育 総務 費	87,503,000	△5,073,000	0	0	82,430,000	64,709,373	63,373,548	1,335,825	0	17,720,627	
	青少 年社 会教 育施 設費	(0)	(0)	(43,615,000)	(0)	(43,615,000)	(35,248,400)	(0)	(35,248,400)	(0)	(8,366,600)	
	生涯 学習 セン ター 費	203,004,000	△27,061,000	11,740,000	82,000	187,765,000	143,597,982	83,794,282	59,803,700	0	12,170,018	
	合計	413,653,000	△43,045,000	(55,355,000)	(0)	(55,355,000)	(46,988,400)	(11,740,000)	(35,248,400)	(0)	(8,366,600)	
				55,355,000	0	425,963,000	396,042,355	334,494,730	61,547,625	0	29,920,645	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(日名) 社会教育総務費											
社会教育企 画費	6,664,000	0	0	0	0	6,664,000	5,138,541	0	1,525,459	77.1	
(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会会議の開催											
			会議の内容								
令和5年8月29日	会 場	鳥取県子ども読書活動推進ビジョン第5次計画策定に向けたアンケート調査の項目について (議事)鳥取県子ども読書活動推進ビジョン第5次計画策定に向けたアンケート調査の項目について (視察)大山町大山公民館及び県立大山青年の家									
令和5年11月27日	会 場	県立倉吉体育文化 会館 (議事)令和6年度社会教育関係団体への補助金について (報告)・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する令和5年度の主な取組状況について ・令和7年度春会館の鳥取県立美術館の進捗状況について									
(2) 各種研修派遣											
第65回全国社会教育研究大会(宮崎大会)及び第45回中国・四国地区社会教育研究大会(島根大会)へ生涯学習分科会委員を派遣した。											
(3) とっとり県民カレッジ講座の開催											
市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。											
① とっとり県民カレッジ講座											
ア 市町村連携											
期日	会場	開催テーマ		連携先市町村等	受講者数	備考					
令和5年9月30日	鬼の館	地域を育む「ウェルビーイング」		西部地区社会教育担 当者研究協議会	41人	動画視聴回数 269回					
令和5年10月21日	上灘コミュニティーセ ンター	若者×地域 楽しくつながるくらしミニミーティング		倉吉市教育委員会	39人	動画視聴回数 102回					
令和5年11月25日	若桜町公民館	(わ) ワクワク! (か) 感動! (さ) 再発見! ~まちを歩いて、前に一歩~		若桜町教育委員会	26人	動画視聴回数 50回					

イ 特別講座（県内大学と連携実施）9回実施

大学名	受講者数
鳥取看護大学・鳥取短期大学（5回）	227人
公立鳥取環境大学（2回）	49人
鳥取大学（2回）	151人
計	427人

② 連携講座 98機関 1,845講座

(4) 中学校トークプログラムの普及

中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す「中学校トークプログラム」を実施する市町村や学校を支援し、中学生の自己肯定感、ふるさとに対する貢献意識の向上を図った。

<実施状況>

地区	実施校数	参加人数
東部	5校	485人(中学生:301人、地域の方:96人、学生:88人)
中部	1校	314人(中学生:162人、地域の方:44人、学生:108人)
西部	8校	972人(中学生:547人、地域の方:285人、学生:140人)

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
(主) インターネットと の適切な接 し方教育啓 発推進事業	4,671,000	0	0	0	4,671,000	3,437,567	0	1,233,433	73.6		
主な事業に関する調べのとおり											

(1) 子ども読書アドバイザーの派遣等
 子どもの読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。また、読書アドバイザーの技
 能向上を図るため研修会を開催した。

- ① 読書アドバイザーの派遣
- ・派遣件数：16件（読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修12件 主に生徒への研修4件）
 - ・アドバイザー：40人（令和5年度末）

②研修会の開催

期日	会場	研修のテーマ	受講者数
令和5年11月12日	倉吉福祉センター	・読み聞かせの基本を押さえる ・子ども読書アドバイザー意見交換会	42人（うちアドバイザー11人）

(2) 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発活動
 図書館等と連携して乳幼児期の読書習慣定着に向けた啓発イベントを実施した。

期日	会場	参加者数	内容
令和5年9月9日 ・10日	イオンモール鳥取北・ イオンモール日吉津	延べ526名（2日間計） ※付き添いの保護者（ワー クシヨップは未参加）等も 含む。	未就学児から楽しめる本のしおりづくり体験 （共催：鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会）
令和5年10月28日	わかさ生涯学習情報館	子ども18名、保護者10名	未就学児から楽しめるオリジナルの絵本バックづくり体験

(3) 中学生・高校生ポップコンテスト

小学生に比べ本を読まない割合が高くなる中学生・高校生に本を読む機会、読書の意義を他者に伝える体験を提供するため、コンテストを実施した。（共催：鳥取県書店商業組合、
鳥取県図書館協会）

- ・募集期間：令和5年8月1日～9月29日
- ・応募作品総数：671点
- ・優秀賞：40点（うち、10点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞）
優秀賞受賞作品は書店や図書館で展示したほか、書店の店頭や公立図書館で本の紹介に活用した。

事業名	予算			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	452,000	0	0	0	0	452,000	88,465	0	363,535	19.6	
<p>家庭環境等の違いのために生じる「体験格差」の是正のため、児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。</p> <p>(1) 自然体験活動の実施 参加施設：3施設 参加人数：合計163人 実施場所：空山ポニー牧場、船上山少年自然の家、大山青年の家 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは出前活動で自然体験活動を行った。(主な活動内容) ポニー教室、自然散策、クラフト、野外炊事 等</p> <p>(2) 各児童養護施設及び各母子生活支援施設への報告会の実施 日時：令和6年3月5日(火) 午前10時から11時 開催方法：Zoomによるオンライン開催 内容：各施設活動内容の報告、課題等の意見交換、令和6年度の事業について</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 野外炊飯等食事を伴う活動を実施した団体が見込みより少なかったため。</p>											
(主) 地域 学校協働活 動推進事業	55,695,000	△5,073,000	0	0	0	50,622,000	41,075,048	0	9,546,952	81.1	
主な事業に関する調べのとおり											
とっとりふれあい家庭教育応援事業	8,723,000	0	0	0	0	8,723,000	5,880,612	0	2,842,388	67.4	
<p>家庭教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置促進、市町村担当者や家庭教育支援員等への学習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく人材育成・基盤形成を推進した。</p>											

<家庭教育を支援する人材の育成>

研修会	期日	講師	受講人数
第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて	令和5年7月19日	県教育委員会、子育て王国課 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室	36人
第2回 保護者へのかかわり・支援方法等	令和5年8月10日	鳥取市健康こども部こども家庭局こども家庭相談センター 所長 臨床心理士	29人
第3回 地域人材を活かした子育て・家庭教育支援	令和5年9月20日	一般社団法人スペースソラ代表 理事 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ	20人
第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて	令和5年10月26日	日南町家庭教育支援チーム 茨城県坂東市家庭教育支援チーム 坂東市教育委員会生涯学習課社会教育主事 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課就学前教育・家庭教育推進室 係長	28人

<家庭教育に関する学習機会の提供>

- ・「とっとり子育て親育ちプログラム」：ファシリテータ8名を16ヶ所へ派遣
- ・家庭教育支援アドバイザー派遣：アドバイザー8名を16ヶ所へ派遣

<その他>

- ・鳥取県家庭教育推進協力企業：993社（令和6年3月現在）
- ※鳥取県家庭教育推進協力企業：保護者である従業員が子育てしやすく、また、子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに自主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業

(不用額が予算現額の3割以上となった理由)

市町村への補助金について、補助対象となる講師派遣の申込が少なかったため。また、家庭教育アドバイザー等の派遣が見込みより少なかったため。

目 計	87,503,000	△5,073,000	0	0	82,430,000	64,709,373	0	17,720,627	78.5
-----	------------	------------	---	---	------------	------------	---	------------	------

事業名	予		算		現		額	計	A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減										
(目名) 青少年社会教育施設費														
船上山少年 自然の家運 営費	(0)	(0)	(43,615,000)	(0)	(43,615,000)	(0)	(43,615,000)	(43,615,000)	(35,248,400)	(0)	(8,366,600)	(80.8)		
	47,598,000	△3,032,000	43,615,000	△119,000	△119,000	88,062,000	88,062,000	78,210,000	0	0	9,852,000	88.8		
	<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・ 指定管理者 (H31~R6) TKSS・富士総合警備保障共同企業体 ・ 管理委託費 41,539,000円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り7,577人 宿泊8,282人 計15,859人</p> <p>(2) その他施設修繕等</p> <p>(3) 主催事業の実施</p> <p>ファミリキーキャンプ、ちっちゃい体験隊等22事業 参加者数：1,012人(左記は(1)の内数)</p> <p>(4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催</p> <p>令和6年度以降の指定管理者の審査に係る会議を開催した。</p> <p>(流用119,000円のうち、37,000円は大山青年の家運営費へ流用、82,000円は生涯学習センター費へ流用)</p>													
大山青年の 家運営費	75,026,000	△7,879,000	0	37,000	67,184,000	65,059,302	0	2,124,698	96.8					
	<p>大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・ 指定管理者 (H31~R6) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・ 管理委託費 39,252,000円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り14,573人 宿泊12,962人 計27,535人</p> <p>(2) その他施設修繕等</p> <p>(3) 主催事業等の実施</p> <p>ファミリキーエジョイカヌー、はじめての冒険等25事業 参加者数：1,466人(左記は(1)の内数)</p> <p>(4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催</p> <p>令和6年度以降の指定管理者の審査に係る会議を開催した。</p> <p>(流用37,000円は船上山少年自然の家運営費より流用)</p>													

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業	522,000	0	0	0	522,000	328,680	0	193,320	63.0		
<p>鳥取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会を実施し、星空環境を活用した教育の機会を提供した。(船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託。)</p> <p>(1) 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：7事業(船上山少年自然の家 2事業・51人、大山青年の家 5事業・165人) 受入団体：5団体(船上山少年自然の家 3団体・80人、大山青年の家 2団体・67人)</p> <p>(2) 移動式プラネタリウム実施事業 4回(船上山少年自然の家 4回・131人)</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 大山青年の家において、利用者等からの移動式プラネタリウムの実施希望がなかったため。</p>											
目計	(0)	(0)	(43,615,000)	(0)	(43,615,000)	(35,248,400)	0	(8,366,600)	(80.8)		
	123,146,000	△10,911,000	43,615,000	△82,000	155,768,000	143,597,982	0	12,170,018	92.2		
事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
(目名)生涯学習センター費	92,852,000	△441,000	0	82,000	92,493,000	92,463,700	0	29,300	99.9		
<p>生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。</p> <p>・指定管理者(H31～R5) (公財)鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 91,345,000円</p> <p>(1)入館者数 54,126人</p> <p>(2)施設修繕等 屋上防水改修工事に係る実施設計等を実施した。</p>											

事業名	算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(3) 主催事業 前記社会教育企画費 ((3) とっとり県民カレッジ講座の開催) に記載のとおり (4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催 令和6年度以降の指定管理者の審査に係る会議を開催した。										
(流用82,000円は船上山少年自然の家運営費から流用)										
生涯学習センター舞台照明設備改修事業	(0)	(0)	(11,740,000)	(0)	(11,740,000)	(11,740,000)	(0)	(0)	(100.0)	
	110,152,000	△26,620,000	11,740,000	0	95,272,000	95,271,300	0	700	(99.9)	
	(設計・工事期間：令和4年5月～令和5年9月)									
目 計	(0)	(0)	(11,740,000)	(0)	(11,740,000)	(11,740,000)	(0)	(0)	(100.0)	
	203,004,000	△27,061,000	11,740,000	82,000	187,765,000	187,735,000	0	30,000	99.9	
合 計	(0)	(0)	(55,355,000)	(0)	(55,355,000)	(46,988,400)	(0)	(8,366,600)	(84.9)	
	413,653,000	△43,045,000	55,355,000	0	425,963,000	396,042,355	0	29,920,645	93.0	

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 現金の取扱状況
該当なし

10 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)
行政財産					増加 減少	R R			R R		0 0	
計			99,830.41	45,739,686			0				99,830.41	45,739,686
普通財産					増加 減少	R R			R R		0 0	
計			0.00	0			0				0	0
合計			99,830.41	45,739,686			0				99,830.41	45,739,686

イ 建物

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)
行政財産					増加 減少	R R			R R		0 0	
計			12,601.30	1,945,078,261			0				12,601.30	1,945,078,261
普通財産					増加 減少	R R			R R		0 0	
計			0.00	0			0				0	0
合計			12,601.30	1,945,078,261			0				12,601.30	1,945,078,261

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況
該当なし

(ウ) 活用の状況
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

(2) 金書類の保有状況
ア 金書の保有状況
有 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和6年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
88枚	0枚	5枚	83枚

(3) 基金
該当なし

(4) 債権
決算資料提出データベースに提出済

1 1 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給配電線施設設置	鳥取市扇町21番地(県立生涯学習センター)	電柱1本	R5.2.22	H5.7.19	R5.4.1 ~ R10.3.31	1,500	1,500	鳥取市新品治町1番地6 中国電力ネットワーク株式会社 鳥取ネットワークセンター		
計											
普通財産											
計											
合計								1,500			

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
緞帳	1	フック刺しゅう巾14.8m×高さ5.5m	H31.4.1 ～ R6.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事 長	生涯学習センター	施設の管理運営に供 するため		
グランドピアノ	1	ヤマハCF	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
デジタル印刷機	1	リソグラフ RZ670	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
キセノンペンスポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用デジタルミキ サー	1	ヤマハCL-3、ヤマハRio 3224-D	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用音響機器	1	BOSE社 RM5520, RM7060, LT 9403 DS16SB, 802-3SG, 62 OM JBL:LSR305	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール吊幕(諸幕)	1	(株)ナカヤマ 貫八綾別 珍・防炎品	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
除雪機	1	フジイSD1123DK2	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	大山青年の家	"		
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
公用車	1	セレナ AT 4WD	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
食器洗浄機	1	(株)マルゼン 本体1台 MDDGB8E R、専用作業用クリーニングテーブル2台 及びステンレスフワード1台は仕様書の とおり	R3.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
絵画	1	初雪の大山 100号	R4.3.30 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先 住 氏 名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
エルネット受信システム	1	TA-CSH575S,TD- MD100G,D-5100-06	H31.4.1 ～ R6.3.31	無償	無償	米子市米原8-11-49 TKSS 富士総合警備保障共同企業体 (株)TKSS代表取締役	船上山少年自 然の家	施設の管理運営に供 するため	
公用車	1	パジェロ 三菱LA- V73WLRUVQ	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	PA-13A2	R3.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	日本画(船上山北壁)F30 号	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	雪間の日ざし 100号	R4.3.30 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
スチームコンベクション オーブン	1	(株)マルゼン ガスパー スチームSSCG-06D ※標準 附属品一式、専用架台、ホテ ルパン三種付	R5.3.24 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
合計					-				

12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先 住氏名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-2	26,647	有	S51.5.18～存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-11	299	有	S51.5.18～存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-4	214	有	H2.4.27～存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-12～14	751	有	H2.4.27～存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町赤碕1142-3 琴浦町 琴浦町長	〃
合計									〃
								0	

13 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積		貸付(使用)料(月額) (円)
		(m)	(円)	
行政財産	鳥取県西伯郡大山町赤松明間原312番地1	12.5	1000	
普通財産				

(2) 減免の考え方

公有財産事務取扱要領第11の4の4(通勤手段として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合に該当するときに減免。

(深夜・早朝の業務に従事する職員は公共交通機関の利用ができないため。)

(3) 使用料の見直し

令和5年4月12日実施

14 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	売却 棄却 の別	処 分				備考
				売却方法・棄却理由	処分 年月日	売却額	処分費用	
ポーターライト 松村電気製作所 BL3-9 150W	平成29年3月17日	令和5年7月10日	棄却	耐用年数超過により更新したため	令和5年7月13日	円	円	更新時に引 取を依頼
エアコン ナショナルCS-BA22T 他	平成8年8月8日他	令和5年12月19日	棄却	耐用年数超過により更新したため	令和5年12月20日	円	円	更新時に引 取を依頼
除雪機 ホンダHS1190 J	平成8年1月17日	令和5年5月24日	棄却	耐用年数超過により更新したため	令和5年10月5日	円	円	更新時に引 取を依頼
ガス湯沸器 細山熱器(株)DST-3	平成3年5月27日	令和6年1月11日	棄却	耐用年数超過により更新したため	令和6年3月7日	円	円	更新時に引 取を依頼

16 貸付金等状況調べ
該当なし

- 意見、要望等
(1)業務に関する要望等
特になし

- (2)監査委員事務局に対する意見・要望等
特になし